

## 技 術 評 価 書

株式会社住宅構造研究所  
所長 金井 建二 様

2020 年 9 月 1 日付けで依頼のあった下記について、当協会に組織した住宅等防災技術評価委員会（委員長：大橋 好光 東京都市大学名誉教授）において検討した結果、別紙技術評価報告書のとおり、耐震性の向上に有効な補強工法であると評価します。



一般財団法人 日本建築防災協会  
理事長 坂本 功



1. 評価番号

DPA-住技-21C-3 (更新)

2. 件名

「制振補強壁ガーディアンフォース工法」

3. 技術評価事項

「制振補強壁ガーディアンフォース工法」の技術評価資料に示される適用範囲、仕様及び使用材料、設計方法、施工方法、性能、品質管理方法並びに設計者及び施工者の要件の妥当性

4. 評価取得日

DPA-住技-21*	2008年3月17日	新規
DPA-住技-21-1*	2010年9月29日	変更・追加・更新
DPA-住技-21C-2	2019年10月4日	変更・追加・更新

※「ガーディアン工法」として取得

5. 評価書の有効期間

更新前：2020年9月28日まで

更新後：2025年9月28日まで（2023年3月2日から）

なお、2020年9月29日から2023年3月1日までの期間については、更新の審査中であったため、旧評価書を有効として扱った。